

科 目 名	心の健康教育に関する理論と実践		副題		
担 当 者	伊東 秀幸				
開 講 期	前期	単位数	2 単位	配当年次	1年
授業の概要	予防的な心理支援として重要となる心の健康教育に関する理論と実践を学ぶ。心の健康教育における公認心理師の役割、心の健康教育を支える理論、心の健康教育の内容と方法について理解を深め、実践出来ることが求められる。				
授業のねらい・到達目標	対象者のニーズをアセスメントし、適切な内容、方法による心の健康教育を実施できる。広く地域住民に対して、メディアを活用するなどした、心の健康に関する広報普及活動が展開できる。				
授業の方法・授業計画					
1	こころの健康とは何か				
2	健康教育とな何か				
3	こころの健康教育を支える理論 1 カウンセリング理論				
4	こころの健康教育を支える理論 2 コミュニティ心理学				
5	こころの健康教育を支える理論 3 学校心理学				
6	こころの健康教育の内容1 自己との関わりを考える				
7	こころの健康教育の内容2 他者・集団との関わりを考える				
8	こころの健康教育の内容3 学習・キャリアの課題				
9	こころの健康教育の内容4 心身の健康とのつきあい				
10	こころの健康教育の内容5 危機対処・レジリエンス				
11	こころの健康教育の方法 1 プログラムの組み立て				
12	こころの健康教育の方法 2 講義型のプログラム				
13	こころの健康教育の方法 3 演習型のプログラム				
14	こころの健康教育の方法 4 メディアを使った広報活動				
15	こころの健康教育の実践				
期末					
授業に関する連絡	本授業では、前半は主に講義形式、後半は演習形式での授業を行う。				
評価方法及び評価基準	授業ごとに担当者を決め発表を行う、その発表の内容（５０％）とレポートの内容（５０％）で評価する。				
事前・事後学習の内容	授業ごとの発表担当者はもとより、履修者全員、事前学習を十分行うこと。事後は、授業の内容をまとめておくこと。				
履修上の注意	履修者は、積極的に授業に参加すること。				
テキスト	特になし、授業ごとにプリントを配布する。				
参考文献	『公衆衛生学』医歯薬出版 『健康のための行動変容』 『こころの健康を支えるストレスとの向き合い方』				